

平成28年度 第3回関東甲信越地区セミナー 「外回り看護」アンケート集計結果

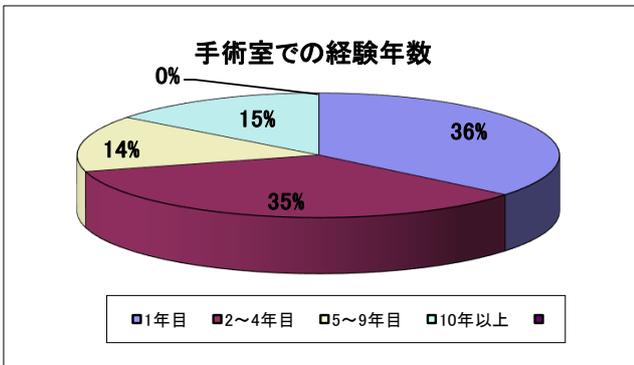
日時:平成28年11月5日(土)

場所:東京都看護協会

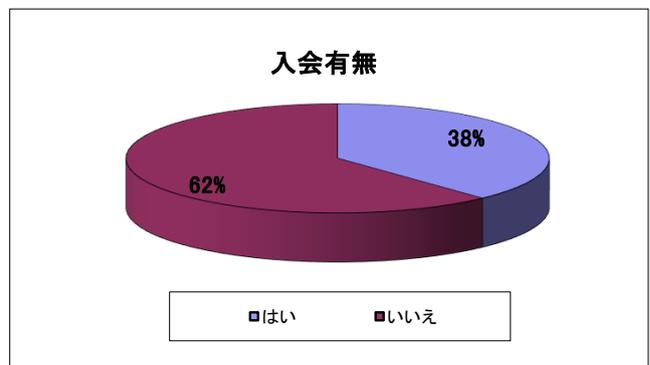
参加人数: 177名 (会員 68名、非会員 109名)

アンケート回収数 164枚 93%

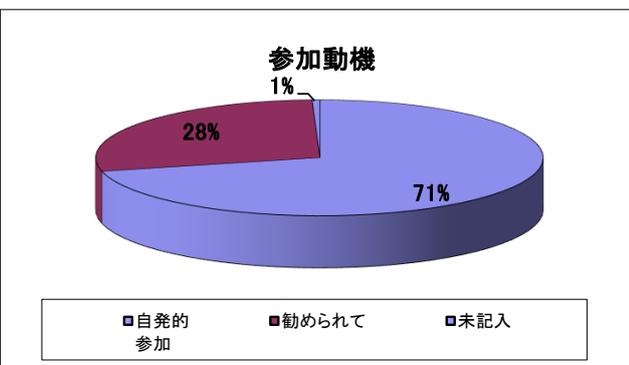
1. 手術室での経験年数



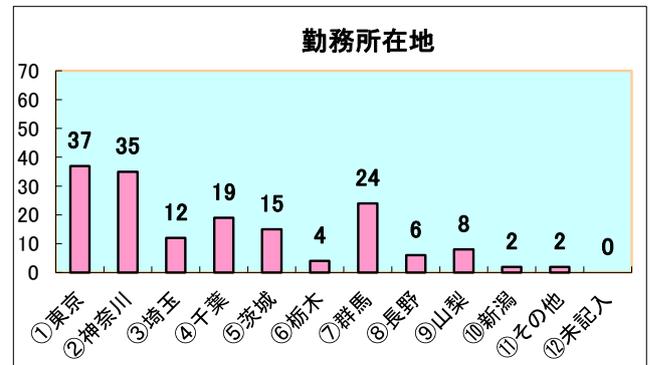
2. 日本手術看護学会に入会されていますか



3. 当セミナーへの参加動機について



4. 勤務先所在地

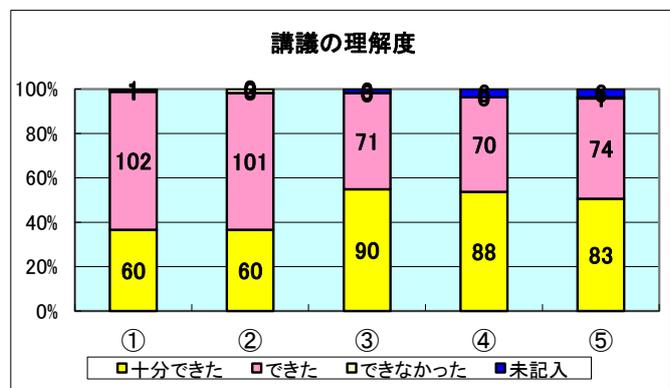


5. 講義内容の理解について

理解出来ない～十分理解できたの3段階での回答

外回り看護

- ①外回り看護師の役割について
- ②術前訪問とアセスメントについて
- ③体温管理について
- ④DVTの予防について
- ⑤アレルギー対策について



6. 今回の研修内容は満足でしたか。

満足: 118人

不満足: 3人

未記入: 43人

満足

・手術室勤務になり5か月、日々の業務をこなすことに慣れてきましたが、その業務の意味・必要性・危険性など理解を深める良い勉強の機会となりました。本日学んだことを自分自身で理解を深め実践につなげられるよう努力したいと思います

- ・外回り看護師として役割を改めて考えることができ、その他体温管理の重要性やDVTの予防法やアレルギーについても学びを深めることができた
- ・体温管理のセミナーはとても勉強になりました
- ・事前の情報収集をもとに対策を準備しておくことの大切さがわかった
- ・エビデンスが示されていて理解しやすかった。外回り業務にすぐ生かせそうな内容もあってよかった。
- ・まだ術前訪問には行ってはいないが、患者さんがどんな思いで入室してくるのか、手術をしてどうなりたいと思っているのか考え知っていきたいと思いました
- ・術前訪問では、病院のマニュアルに沿った行動しかしていなかったが患者さん本人と会わないと分からない情報があるので、患者さんのことを知ろうという気持ちで術前訪問に行こうと思った
- ・講義を通して初めて知ったアレルギーもあった。麻酔との関連も理解できた。
- ・外回りをしていくにあたり、注目するポイントを知ることができ視野を広げ観察できると思った
- ・術前訪問・術中の対応の具体的なアセスメントの視点を学ぶことができた
- ・認定看護師の目線での講義はとても理解しやすかった
- ・実際に見たことの無い悪性高熱やPTE,アナフィラキシーショック等について対応や症状を改めて学ぶ良い機会になった
- ・業務に追われて振り返ることができていないことに改めて気づいた
- ・「手術創以外の傷を作らない」大事だなと思った

術前訪問・術後訪問は看護師が聞きたいことだけを聞くのではなく、患者の思い、手術後の社会復帰までを見据えて行うことが大切であることが分かった

- ・術前からの保温はぜひ患者に説明をしていきたいと思った

不満足

- ・外回りとしての器械出しとの協力・看護も提示してもらいたかった
- ・「外回り看護師の役割」「術前訪問とアセスメント」に関しては、情報の使い方、アセスメントの仕方など具体的な感じで学びたかった

7. 今後のセミナー希望

- ・術中心電図モニターについて
- ・各科術式ごとの看護など(特徴や注意点)
- ・手術室で使用する薬剤について
- ・皮膚トラブル・体位・アセスメントと計画
- ・術中の褥瘡予防の方法
- ・手術室における倫理
- ・麻酔セミナーを秋にも開催してほしい
- ・手術看護計画・記録の書き方
- ・チームの連携(麻酔科医とのコミュニケーションなど)
- ・看護研究・手術室での災害対策
- ・後輩指導の方法

8. セミナー企画運営についての意見・感想

- ・テキストの販売を希望します
- ・昼休みを少し長めにしてほしい
- ・最近のセミナーはすぐに満員になってしまい参加できないことが多々あります。是非とも会場の広い、参加人数を増やしていただくと助かります
- ・年度の前半はラダーレベルⅠ・Ⅱ対象の研修はあるが、Ⅲ～Ⅳ対象の研修はないので、前半にも企画してもらえると嬉しい